

聖心会永羅飛空手道場20周年記念事業

国際系東流空手道聖心会 宗家 原田貞朋

八段範士 モハメッド ヌルル エラヒ

日時：2015年5月2日〜3日開催

会場：5月2日／新潟、長岡市与板体育館 5月3日／長岡市与板コミュニティセンター

主催 聖心会永羅飛空手道場

主管 世界国際系東流空手道聖心会・与板空手道会・YSI永羅飛今町空手道会



20年前の1995年3月、聖心会永羅飛空手道場を立ちあげる。その後今日まで続いていることは妻エラヒ美砂子の支えがあったからこそである。1991年9月、元世界チャンピオン林晃先輩との出会いがあり、毎週2〜3回見附から新潟までの50キロの道のりを通い、空手の技のみでなく、空手の精神、礼と節を学ぶことができた。

聖心会原田宗家より日本古来の武道の精神を学ぶ。八段範士となり、世界国際系空手道聖心会会長に平成24年12月、任命を受ける。

日本刀に深い興味と思いがあり日本魂を見る。19年前に出会った恩師小林先生のおかげで現在、居合道を学んでいる。

YSI 永羅飛空手道場(YII 与板SII 三条 III 今町) 三つの頭文字は各、空手道場のことを表す。道場では技のみでなく愛を持って絆をつくることを指導。親との絆、仲間との絆。空手は礼に始まり礼に終わる。練習の間、待ってくれている親に対し心を込めて礼をしてから道場を去る。道場に入る時は靴を揃え、心を整える。20年間、永羅飛空手道場ではこのような指導をしている。

育成会の協力のもと20周年記念事業開催の運びとなり真和会(和道流)の合同参加があり、絆が深まった。

聖心会新潟本部の他、長岡技大空手道部、真和会、オランダ本部が参加。



原田宗家を囲んで、参加者達。

糸東流聖心会オリジナル平安初段から五段の形を分解とともに、聖心会首席師範モハメッドヌルル永羅飛が指導をおこなった。

和道流真和会山川先生によりピーアンの初段と二段の指導をおこなう。



原田宗家による平安形の分解

オランダ本部長トニーベンロンが日本の子供達とふれあい聖心会の柔術指導をおこなった。
原田宗家による空手の指導があり基本こそ全てであることを教わる。

形の基礎を原田宗家の元で首席師範であるモハメッドヌルル永羅飛が聖心会オリジナル平安形を5つ全て伝授する。



国際糸東流空手道聖心会の基本の形として初めに平安二段、平安三段、平安初段、平安四段、平安五段の順に進むことを今回、明確にする。
聖心会の基本の

形の分解を明確にし、さらに糸東会との平安形の違いを明確にした。聖心会は伝統的団体であり誇りをもつて前に進むようにと原田宗家より言葉を頂く。聖心会の発展の為世界に向けて頑張ることを誓う。

1998年、空手道の世界で初めて聖心会が「団体でオリンピックに加盟運動を全世界に広める運動を起こした事に誇りを持ち頑張るように指示を受ける。

聖心会が17年ぶりに平安の基本形、分解の冊子を作成したことにより、今回の講習で明らかにした。



エラヒは、ピュアハートを合言葉に絆を深めることを誓った。

オランダ本部長トニーベンロンは柔術八段、空手道四段の師範であり、今回永羅飛道場20周年事業に柔術指導の為来日した。

長岡技術科学大学聖心会空手道部顧問の松本先生が合気道を披露し、

合気道の実技を指導、交流する。参加者全員で熱心に合気道を学んだ。空手、柔術、合気道、護身道、それぞれの伝統の技を知る機会となり、絆を深めた。



20周年記念パーティーは空手関係者だけでなく、新潟倫理法人会をはじめ長岡スポーツ協会、長岡国際交流センター長、長岡技術科学大学、地元の人達の沢山の参加があり70名に及んだ。

20年前に初めて指導した教え子も参加した。



アトラクシオンとして、子供達による平安形演武、バツサイダイ、ニーパイポ、

飛田野師範代による居合道五本形演武。

長岡技大生によるインド舞踊、20年前の教え子によるギターの演奏、永羅飛育成会による計画のもと、盛大に行われた。



エラヒ夫妻の挨拶



柔術の指導



合気道の指導